

令和2年度沖縄空手会館企画展関連シンポジウム

沖縄県指定無形文化財 「沖縄の空手・古武術」 新保持者と語る。

21世紀に継承する沖縄空手・古武術のあり方など
戦後の空手・古武術の復興に係わってきた保持者から、
先人から受け継がれたわざと心に迫る

入場無料

定員 **200**人
(先着順)



2020年5月に新たに沖縄県指定無形文化財「沖縄の空手・古武術」の保持者が認定されました。

新たな保持者になられた伊波光太郎氏、喜久川政成氏、高良信徳氏、仲程力氏、眞栄城守信氏がパネリストとして参加予定。

日時: 令和2年12月20日(日)

13:30~15:00(開場13:00)

会場: 沖縄空手会館 道場

※どなたでも参加できます。

※ 当日参加も可能ですが、会場の都合により先着200名様のご受付となります。

※ 参加ご希望の方は、裏面の申し込み書によりお早めにお申し込み下さい。お申し込み方法は裏面をご参照下さい。

※ なお、新型コロナウイルスに係る感染拡大に伴い施設が閉館する場合は、中止する場合がありますので、ご了解ください。

※ また、会場入場時に、各施設の様式による入場者健康状態・連絡票の記入・提出が必要です(ダウンロード可、会場でも配布します。)同票には、2週間前及び当日の健康状態チェックの状況のチェック欄があり、体調不良の場合は、入場をお断りする場合がありますので、感染拡大防止のためのご理解、ご協力をくださいますようお願いいたします。

主催: 沖縄県空手振興課 / 沖縄県指定無形文化財「沖縄の空手・古武術」保存会